

3. 障害者支援施設「京都市大原野の杜」

生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業・特定相談支援事業所

(1) 総括

コロナ禍での生活も2年を経過したが、感染防止対策に重点を置いたサービス提供は継続している。感染者数が減少傾向になった時期には、面会や帰宅も再開し、個別活動として外食を楽しむ機会を設けることができた。しかし、オミクロン株の出現により、施設関係者や職員家族の周辺で感染が確認されるなど身近なところで感染者数が急増することとなり、1月以降は再び制限することとなった。同時にショートステイの受け入れも縮小したため、2月、3月は短期入所事業の稼働率が落ち込んでいる。

施設での支援は、フロアを区別することを徹底するために居室の変更を実施し、利用者の活動もフロア毎に行うようにした。外出ができないため日常の「ひとつのお楽しみとして」ティタイム時におやつを取り入れてきた。当初は、自身で買い物にけなくても職員が買ってきてくれるということで納得していた利用者がさすがに、最近は「コンビニ行きたい」「買い物したい」「レストラン行きたい」等の訴えも出てきている。

利用者はベランダを歩くことや近隣での散歩はしているものの、外出が減ったことや加齢の影響もあり、徐々に体力が低下しているようで屋外での歩行については、継続できる時間が短くなっている利用者も散見される。さらに、自力で動かれる利用者の転倒が増加傾向にあり、特に夜間はセンサーマット等で対応しているが、ケガが回復しないうちに動かれて、転倒を繰り返されることもあった。また、てんかんの既往歴のない方や長期間症状が落ち着いていた方にけいれん発作が起きるケースもあり、発作をきっかけに誤嚥性肺炎を発症され死亡されることもあった。今年度は4名の利用者が亡くなっている。

また杜には喀痰吸引が必要な利用者も生活されているが、看護師が不在となる時間帯もあり職員が講習を受講し喀痰吸引を実施している。しかし受講者が充足しておらず、必要な講習を終了していない職員が吸引を行っていたことがあり京都市監査において指導を受けた。現在は講習修了者が2名増え、看護師の不在時にも対応できるように体制を整えており、更に順次講習を受けている状況である。今後も法令を遵守し、支援職員として利用者が快適に生活を送るために、でき得ることを果たしていくようにしたい。

最後に、大原野の杜が開設した当時に発足した「洛西家族会」が6月に解散された。利用者の代弁者として、またご家族の代表として、長い間、施設運営に多大なるご尽力くださったことに感謝申し上げるものである。

(2) 職員体制（令和4年3月末現在）

施設長(管理者) 1名 副施設長 1名 サービス管理責任者 1名 事務職員 2名(補助 1名) 支援職員 33名(補助 2名・非常勤 14名) <常勤換算 30.4名> 看護師 2名 管理栄養士 1名 洗濯業務・清掃業務(非常勤) 3名 医師 2名(嘱託：内科週1回・精神科月2回) *調理は業務委託

(3) 利用者の状況

① 在籍人数・利用実績

1) 施設入所支援：定員 50 名・現員 48 名，年間利用率 93.4%（R 2 年度：96.1%）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男性	在籍者	25	26	26	26	25	25	25	25	25	24	24	24	—
	利用日数	679	717	727	723	736	720	717	696	720	700	644	693	8472
女性	在籍者	24	24	24	24	24	23	23	23	24	24	24	24	—
	利用日数	720	718	690	712	722	690	713	688	728	734	672	744	8531
合計	在籍者	49	50	50	50	49	48	48	48	49	48	48	48	—
	利用日数	1399	1435	1417	1435	1458	1410	1430	1384	1448	1434	1316	1437	17003
	利用率%	93.2	92.5	94.4	92.5	94.0	94.0	92.2	92.2	93.4	92.5	94.0	92.7	93.4

2) 生活介護：定員 50 名・現員 48 名，年間利用率 92.7%（R 1 年度：94.7%）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男性	在籍者	25	26	26	26	25	25	25	25	25	24	24	24	—
	利用日数	501	541	535	532	552	528	527	510	530	522	460	517	6255
女性	在籍者	24	24	24	24	24	23	23	23	24	24	24	24	—
	利用日数	525	534	506	516	529	506	512	489	516	544	480	552	6209
合計	在籍者	49	50	50	50	49	48	48	48	49	48	48	48	—
	利用日数	1026	1075	1041	1048	1081	1034	1039	999	1046	1066	940	1069	12464
	利用率%	93.3	93.5	94.6	91.1	94.0	94.0	90.3	90.8	91.0	92.7	94.0	93.0	92.7

② 年齢・男女別人数：男性最高齢 73 歳・女性最高齢 80 歳

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	合計	平均年齢
男性	0	1	7	6	4	6	0	24	57.0
女性	0	0	9	6	3	5	1	24	58.1
合計	0	1	16	12	7	11	1	49	57.5

③ 障害支援区分別人数

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	6 区分	合計	平均区分
男性	0	0	0	2	4	18	24	5.7
女性	0	0	0	2	4	18	24	5.7
合計	0	0	0	4	8	36	48	5.7

④ 利用者の動向

- 新規入所—男性 2 名、女性 1 名
- 退 所—男性 3 名、女性 1 名（いずれも死亡による）
- 入 院・男性 1 名が誤嚥性肺炎により長期入院中。
 - ・6 月、8 月、10 月、12 月に女性 1 名が透析用シャント更新手術のため入院
 - ・5 月～8 月に女性 1 名が誤嚥性肺炎のため入院
 - ・4 月～5 月、7 月～8 月、10 月～1 月に男性 1 名が誤嚥性肺炎のため入院
 - ・7 月男性 1 名が帰宅療養中に疾患悪化のため入院

3)短期入所事業利用実績：定員5名、稼働率42.4%（R2年度：50.3%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	11	4	11	15	10	7	13	16	14	7	1	4	113
	利用日数	39	23	38	57	42	31	51	56	57	26	2	11	433
女	利用人数	8	4	6	12	5	6	14	12	13	6	0	3	89
	利用日数	27	20	21	46	25	20	48	53	50	22	0	9	341
合	利用人数	19	8	17	27	15	13	27	28	27	13	1	7	202
	利用日数	66	43	59	103	67	51	99	109	107	48	2	20	774
計	稼働率%	44.0	27.7	39.3	66.5	43.2	34.0	63.9	72.7	69.0	31.0	1.4	12.9	42.4

○京都市依頼「あんしん生活緊急サポート事業(障害者緊急短期入所事業)」の

緊急利用枠を年間13週担当：利用者のべ16名、52泊の利用があった。

○虐待対応ケース なし

4)日中一時支援事業利用実績 延べ10名（R2年度：延べ5名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
	利用日数	0	0	0	0	0	0	3	2	0	3	0	0	8
女	利用人数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	利用日数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
合	利用人数	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	5
	利用日数	0	0	0	1	0	0	3	3	0	3	0	0	10

（4）重点方針及び事業内容 取組結果

ア 施設入所支援

昨年度より感染症拡大防止の観点から2F3Fに分かれている生活フロアごとにサービス提供を行っているが、今年度はより厳密に区別することとし、利用者の心身の状況の変化や障害の状態によって居室変更や活動グループの見直しを行った。フロアごとに支援職員を分けることで職員の負担が増えたことは否めないが感染症の予防には成果があると考え。一方で加齢に伴う身体機能の低下が見られる利用者が増加しており、転倒によるケガやてんかん発作の発生もあった。今年度は4名が亡くなられた。コロナ禍のため施設内で過ごしていただく時間が多いため、利用者居室の環境整備を進め、個別に快適に過ごしていただけるようにした。デイルームなど共有の場所におられても個別に好きな映像を楽しんでいただけるようポータブルDVDプレイヤーやタブレット端末を活用するようにした。

イ 生活介護

（ア）紙漉き班では、個々が主体的に楽しんで取り組める活動を模索し提供した。今年度もイベント等の中止が相次ぎ、販売することはできなかったが、その分利用者のペースで商品の制作を進めることができた。

（イ）外部の作業場（芽ぐみ）には、月曜日から木曜日まで通うことを基本とし活動することができたが、交流学習が縮小されたこともあり、ファーム（畑）で作業する機会は少なかった。また、芽ぐみへ行った際に実施していたスーパーマーケットでの買い物や近隣の店舗の利用は感染防止のため中止した。

(ウ) めざめ班では、マスクを着用することに抵抗が強い利用者もあり、施設内で過ごすことが多かった。特に高齢の利用者は健康状態に合わせて、ベッドで過ごしていただく時間を設けるなどした。月3回の音楽療法は、利用者にとって楽しい時間であるため、コロナの状況により講師に来ていただけない時期も音楽プログラムの時間として取組を行った。

(エ) 余暇活動では、夏の花火大会は屋外での行事であること感染者数が減少していた時期でもあったので、密集しないよう配慮して実施した。納涼祭は、小グループ毎に縁日風のゲームが楽しめるようにした。その他、誕生月の外食を計画していたが、多くはレストランからのテイクアウトで実施した。感染者数が減少していた時期にはレストランの個室にて外食を実施したグループもあった。

(オ) コロナの状況によっては外部から講師を招くことはせず、生け花については花材を届けていただいて職員と利用者で取り組んだ。絵画等の創作活動も同様に講師がいない時は、絵画の時間としての取組を行い、秋には京都府主催の「とっておきの芸術祭」に出展した。また、別のコンテストへの出展や知福協の全国大会の際に専用サイトに投稿するなどして多くの方に見ていただけるようにした。茶道については職員が指導する事はできず、講師に来ていただける時のみの活動となった。

ウ 健康管理

(ア) 新型コロナウイルスへの感染を早期に発見できるように毎日の体温測定と健康観察を行った。発熱や風邪症状が認められる場合は、隔離対応し抗原検査キットによる検査を行うようにした。利用者の新型コロナ感染は全くなかった。健康診断については今年度も外部の機関で実施することができず、嘱託医の協力のもと年2回実施した。レントゲン撮影のみ、年度末に委託可能となり実施することができた。また、ふれあいの里診療所と連携し、コロナワクチンの2回接種および追加接種を完了している。

(イ) 毎日、起床時、食後および寝る前に口腔ケアを行った。月1回、歯科医師により検診を実施した。必要に応じて専門の医師による嚥下評価も実施し、安全に美味しく食べられるよう支援している。その他、利用者に適切な口腔ケアを実施することができるよう歯科衛生士による口腔ケア指導を月1回実施した。

エ 給食・栄養

(ア) 栄養ケアマネジメントを実施し、1ヶ月に1回の体重測定及び3ヶ月毎の栄養摂取量調査をもとに健康栄養状態を確認し、支援職や看護師等と連携し食事量の調整や食事介助の方法の見直しなどを行った。

(イ) 普通食はもとより刻み食やミキサー食についても、安全かつ見た目や味の質を損なわないような食材を用いて献立を作成し、調理方法についても厨房と協力し工夫するようにした。

オ 短期入所事業

新型コロナウイルス感染予防の観点から、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されている間は利用の自粛を依頼した。利用者の通所先で感染が確認されることが増えたせいかキャンセルや予約することを控えられるケースも増えている。

カ 特定相談支援事業所

支給決定時のサービス等利用計画案を作成し、支給決定後のサービス等の利用状況についての検証を行い、計画の見直し（モニタリング）やサービス事業所等との連絡調整を行った。

キ 家族との連携

感染症予防の観点から利用者の帰宅や面会の制限を継続した。利用者の日常の様子や健康状態などを電話でご家族に報告する機会を増やし、利用者のご家族と直接電話口で話をされることもあった。

施設の開設当初に設立された「洛西家族会」が6月に解散された。年に数回定例会を開かれ、その際に施設の近況を伝えるなど意見交換の場でもあったが、解散されて以降は、コロナ禍な事もありご家族に集まっていただく機会は設けていない。

ク 地域との連携および公益的な取り組み

（ア）ケナフ栽培は2つの小学校の担当教員と相談して実施した。特に大原野小学校とは担当教員及び地域の民生児童委員と随時連絡調整を行い、交流学习という形になるよう可能な限り取り組んだ。児童と利用者の交流は刈り取りの1度だけだったが、植え替えと刈り取りは職員が参加して実施した。最終段階の紙漉は施設側で行い、でき上がったハガキを小学校に届けている。

（イ）洛西ふれあいの里秋まつり、大原野フェスタ、福西夏祭りなどのイベントは中止となった。

（ウ）施設の会議室を会場として開催される地域社会福祉協議会の学習会が3月に予定されていたが感染者数が増加より中止となった。その他の地域との繋がりとして、中学校に車いすの貸出を行った。大原野の杜で借りることができるということを知ってもらえる良い機会となり、以来必要な時には活用していただいている。また、非常時に協力し合えるよう自家発電装置を設置したことを地域社協にアナウンスした。

ケ 職場環境の整備

年に2回職員ヒアリングを実施した。その他月1回の安全衛生委員会で職員の健康状態や就労状況について意見交換を行った。実施回数は少なかったが産業医面談の機会も設けるようにした。職員のリクエストに応じたテーマ（アンガーマネジメント、睡眠、認知症）で、産業医より年間3回講話をしていただいた。また、安全衛生委員会として、職員同士のコミュニケーションについての課題を取り上げ、年に2回アンケート調査を実施した。

コ 虐待防止の取り組み

（ア）年に2回虐待防止のためのセルフチェックを実施し、自らの支援や行動の振り返りを行った。

（イ）虐待防止委員会を開催するには至らなかったが、不適切な支援を防止しより良い支援をするためにリスク委員会で協議検討する機会を持った。

（5）情報

ア 情報発信、開示の状況

（ア）「大原野の杜通信」を年2回発行した。

(イ) 杜通信が半年分の様子をまとめてお知らせするのに対し、ブログはリアルタイムで施設での様子をお知らせしすることができるため、月1回の掲載を目指したが今年度は年に8回の掲載にとどまった。

イ 利用者満足度、苦情解決の状況

利用者にとって、コロナ禍で外出ができないことに不満が溜まってきている様子が伺える。散歩やドライブには出かけたが、「買い物行きたい」「温泉行きたい」「レストラン行きたい」との訴えもある。食事については、テイクアウトで好みのものを食べる機会を設けるようにしたが、やはり雰囲気も含めての外出であり、満足度は低いと感じる。

また、ご家族からはコロナ感染がないことで一定安心していただけているようだが、久しぶりの面会や帰宅の際に、ヘアスタイルや服装など整容に係ることが不十分と感じられることがあったとのご意見があった。

ウ リスクへの対応状況

(ア) 日常生活の中での傷や打ち身などについて、原因を探り解消されるよう必要に応じて過ごし方や支援方法の見直しを行った。しかし、利用者の身体機能の低下や特性を充分把握できていなかったことにより利用者がケガを負う事故があった。

(イ) 施設内に見守りカメラを設置したことで、事故があった際の状況を確認し原因を究明分析し再発防止に活用した。また、利用者同士のトラブルについても、カメラの映像を確認することで状況を正しく把握できたケースがあった。

(6) 育成

ア 実習やボランティアの受け入れ状況

(ア) 保育専門学校および大学より保育実習を受け入れた。社会福祉士の実習については、指導者を配置したが、今年度は希望者がなかった。

(イ) コロナ感染防止の観点から、新たなボランティアの募集は行わなかった。

イ 職員育成

(ア) 研修委員会を中心として、年間9回内部での研修会を開催した。内容は介護実技、緊急時対応、自主製品制作、法人研修の伝達研修等となっており、特に実技や緊急時対応は同じ内容で複数回開催することで多くの職員が学ぶことができた。

(イ) ひとつのチームとしてより良いサービスを提供できることを目指して、虐待防止の自己チェックと併せて職員同士のコミュニケーションについての自己チェックを実施した。

(ウ) 他施設の見学や実習は実施しなかった。一部の職員は法人のイノベーションプロジェクトの取組や50周年記念事業の実行委員会に参加しており、他事業所の職員と交流することができた。

(7) 地域との交流・連携の状況

大原野社会福祉協議会の活動や地域行事などは縮小され、具体的に施設として参加する機会がなかった。交流学习は、縮小されたが学校や地域の関係機関とは随時連絡を取り合い、実施の可否や方法などの協議や調整を行って状況の応じて可能な形で実施した。

(8) 施設整備の状況

ア 新型コロナウイルス感染症予防のための衛生用品を購入した。

マスク、手袋、袖なしエプロン、長袖エプロン、フェイスガード、ゴーグル、消毒用アルコール、抗原検査キット等

イ PHS の台数を増やした。施設内の連絡をスムーズにするためにインカムの導入を計画していたが職員との協議検討の結果、PHS を活用することとした。また、PHS から館内放送できるように放送設備の改修を実施した。

ウ 見守り安全カメラを2Fと3Fそれぞれの廊下とデイルームに設置(全部で8カ所)した。事故等が発生した場合、発生時の様子や事後の対応を確認し分析することができるようにした。

エ 男性浴室リフト用の車いすの買換え(経年劣化による破損のため)

オ 昨年度実施できなかった居室カーテンを新調しリース契約した。

カ 施設全館の空調設備(GHPのみ)の入替工事を実施した。(京都市予算による)

キ 1F 玄関、廊下及び3F 廊下の空調設備(EHP)を新たに設置した。

ク 3F 男性トイレのパーティションの取替え工事を実施した。

ケ 災害等の非常時に備え自家発電装置を設置した。(地域共生補助金を活用)

コ その他、経年により劣化や故障のある器具や設備の修理を実施した。

サ ジェネレーションシステムの部品取替、トイレ及び洗面台の水栓取替、医務室温水器の取替、壁及び床の修繕、厨房食洗機および水栓部品取替、スチームコンベクション部品取替等

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収 入	障害福祉サービス等事業収入	[312,560,000]	[308,287,040]	[4,272,960]
	自立支援給付費収入	(270,870,000)	(266,166,844)	(4,703,156)
	介護給付費収入	270,660,000	266,045,559	4,614,441
	計画相談支援給付費収入	210,000	121,285	88,715
	利用者負担金収入	480,000	337,308	98,694
	補足給付費収入	(3,570,000)	(3,800,725)	(△) 230,725)
	特定障害者特別給付費収入	3,570,000	3,268,309	301,691
	特例特定障害者特別給付費収入	0	532,415	△ 532,415
	特定費用収入	(28,250,000)	(27,759,505)	(490,395)
	特定費用収入(課税)	1,730,000	3,370,303	△ 1,640,303
	特定費用収入(非課税)	28,520,000	24,389,302	2,130,698
	その他の事業収入	(9,440,000)	(10,222,550)	(△) 782,550)
	補助金事業収入(公費)不課税	5,680,000	9,228,340	△ 548,340
	受託事業収入(公費)課税	700,000	884,400	△ 184,400
	受託事業収入(公費)不課税	10,000	50,670	△ 40,670
	受託事業収入(一般)課税	0	650	△ 650
	受託事業収入(一般)非課税	0	9,070	△ 9,070
	その他の事業収入(課税)	35,000	48,430	△ 14,430
	その他の事業収入(不課税)	15,000	0	15,000
	経常経費寄附金収入	[690,000]	[666,255]	[23,745]
	その他の収入	[2,650,000]	[2,622,184]	[27,816]
	受入研修費収入	30,000	53,000	△ 23,000
	利用者等外給食費収入	2,280,000	2,149,080	130,920
	雑収入	(340,000)	(420,084)	(△) 80,084)
	雑収入(課税)	340,000	357,940	△ 17,940
	雑収入(不課税)	0	62,144	△ 62,144
事業活動収入計(1)		315,900,000	311,578,459	4,321,541
事 業 活 動	人件費支出	[177,570,000]	[172,797,148]	[4,772,852]
	職員給料支出	(100,700,000)	(99,055,649)	(1,644,351)
	職員給料支出(課税)	3,430,000	3,395,808	34,192
	職員給料支出(不課税)	97,270,000	95,659,841	1,610,159
	職員賞与支出	24,430,000	24,763,011	△ 333,011
	非常勤職員給与支出	(25,180,000)	(23,765,968)	(1,414,032)
	非常勤職員給与(課税)	870,000	668,750	201,250
	非常勤職員給与(不課税)	24,310,000	23,097,218	1,212,782
	退職給付支出	4,540,000	3,554,440	985,560
	法定福利費支出	22,720,000	21,658,080	1,061,920
	事業費支出	[66,430,000]	[46,380,460]	[9,049,540]
	給食費支出	19,510,000	18,577,831	932,169
	保健衛生費支出	2,450,000	1,424,916	1,025,084
	敬愛娯楽費支出	600,000	182,215	417,785
	水道光熱費支出	(21,610,000)	(17,358,491)	(4,251,509)

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
電気料	6,780,350	6,647,222	132,772
ガス料	8,740,000	5,835,764	2,904,236
上下水道料	5,090,000	4,375,505	1,214,495
燃料費支出	60,000	29,402	30,598
消耗器具備品費支出	7,150,000	5,645,725	1,504,275
保険料支出	660,000	643,200	16,800
賃借料支出	1,870,000	1,684,600	185,400
教育指導費支出	640,000	403,354	236,646
車両費支出	(760,000)	(367,391)	(392,609)
燃料油消費	350,000	303,591	46,409
その他の車両費	410,000	63,500	346,500
雑支出	(110,000)	(56,335)	(53,665)
雑支出(課税)	55,000	4,957	50,043
雑支出(不課税)	55,000	51,384	3,616
事務費支出	[33,290,000]	[34,440,127]	[4,849,873]
福利厚生費支出	(1,950,000)	(1,066,930)	(883,070)
福利厚生費(課税)	1,830,000	887,668	942,332
福利厚生費(不課税)	120,000	179,262	△ 79,262
旅費交通費支出	350,000	432,770	△ 132,770
研修研究費支出	230,000	300,164	△ 70,164
事務消耗品費支出	970,000	369,770	600,230
印刷製本費支出	450,000	367,199	82,801
修繕費支出	5,920,000	2,615,718	3,304,282
通信運搬費支出	650,000	725,400	△ 95,400
会議費支出	20,000	3,820	16,180
広報費支出	200,000	299,750	△ 99,750
業務委託費支出	23,150,000	22,719,125	430,875
手数料支出	270,000	589,553	△ 319,553
土地・建物賃借料支出	(690,000)	(680,000)	(10,000)
土地・建物賃借料支出(課税)	667,000	660,000	7,000
土地・建物賃借料支出(非課税)	23,000	20,000	3,000
租税公課支出	350,000	347,100	2,900
保守料支出	3,870,000	3,644,580	225,420
諸会費支出	(140,000)	(128,850)	(11,150)
諸会費支出(非課税)	0	12,000	△ 12,000
諸会費支出(不課税)	140,000	116,850	23,150
雑支出	(120,000)	(128,618)	(9,618)
雑支出(課税)	60,000	128,618	△ 68,618
雑支出(不課税)	60,000	0	60,000
支払利息支出	[20,000]	[25,994]	[△ 5,994]
その他の支出	[1,190,000]	[1,435,840]	[△ 245,840]
利用者等外給食費支出	1,190,000	1,235,840	△ 45,840

京都市大原野の区分 資金収支計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
施設整備等 に よ る 収 入 支 出	雑支出	0	200,000	△ 200,000
	事業活動支出計(2)	273,500,000	255,079,669	18,420,331
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	42,400,000	55,495,890	△ 13,095,890
	施設整備等補助金収入	[330,000]	[330,000]	[0]
	施設整備等補助金収入	330,000	330,000	0
	施設整備等寄附金収入	[330,000]	[396,000]	[△ 66,000]
	施設整備等寄附金収入	330,000	396,000	△ 66,000
	施設整備等収入計(4)	660,000	726,000	△ 66,000
	固定資産取得支出	[7,640,000]	[9,607,365]	[△ 1,967,365]
	建物取得支出	450,000	418,000	2,000
	構築物取得支出	0	1,230,000	△ 1,230,000
	器具及び備品取得支出	7,220,000	7,959,365	△ 739,365
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[370,000]	[323,448]	[46,552]
	施設整備等支出計(5)	8,010,000	9,930,813	△ 1,920,813
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 7,350,000	△ 9,204,813	1,854,813
その他の 活動 に よ る 収 入 支 出	積立資産取崩収入	[9,740,000]	[5,850,000]	[3,890,000]
	人件費積立資産取崩収入	3,890,000	0	3,890,000
	修繕積立資産取崩収入	1,470,000	1,440,000	0
	備品等購入積立資産取崩収入	4,410,000	4,410,000	0
	その他の活動収入計(7)	9,740,000	5,850,000	3,890,000
	積立資産支出	[0]	[9,930,000]	[△ 9,930,000]
	人件費積立資産支出	0	3,000,000	△ 3,000,000
	修繕積立資産支出	0	3,450,000	△ 3,450,000
	備品等購入積立資産支出	0	3,410,000	△ 3,410,000
	拠点区分間繰入金支出	[44,730,000]	[42,275,000]	[2,515,000]
	その他の活動支出計(8)	44,730,000	52,175,000	△ 7,385,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 35,050,000	△ 46,325,000	11,275,000
	予備費支出(10)	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	966,077	△ 966,077
前期末支払資金残高(12)		163,465,421	163,465,421	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		163,465,421	164,431,498	△ 966,077

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	障害福祉サービス等事業収益	[308,287,040]	[323,519,193]	[△ 15,232,153]
	自立支援給付費収益	(266,166,844)	(276,758,501)	(△ 10,601,757)
	介護給付費収益	266,046,559	276,412,170	△ 10,366,611
	計画相談支援給付費収益	121,285	356,431	△ 235,146
	利用者負担金収益	337,306	334,800	2,506
	補足給付費収益	(3,800,725)	(0)	(3,800,725)
	特定障害者特別給付費収益	3,268,309	0	3,268,309
	特別特定障害者特別給付費収益	532,416	0	532,416
	特定費用収益	(27,759,505)	(28,473,342)	(△ 714,337)
	特定費用収益(課税)	3,370,303	1,795,957	1,574,346
	特定費用収益(非課税)	24,389,302	26,677,935	△ 2,288,633
	その他の事業収益	(10,222,560)	(17,341,850)	(△ 7,119,290)
	補助金事業収益(公費)非課税	0	34,390	△ 34,390
	補助金事業収益(公費)不課税	9,228,340	15,983,650	△ 7,765,310
	補助金事業収益(一般)非課税	0	5,860	△ 5,860
	補助金事業収益(一般)不課税	0	200,000	△ 200,000
	受託事業収益(公費)課税	834,403	698,500	135,900
	受託事業収益(公費)不課税	50,570	0	50,570
	受託事業収益(一般)課税	650	0	650
	受託事業収益(一般)非課税	9,070	0	9,070
	その他の事業収益(課税)	49,430	7,800	41,630
	その他の事業収益(不課税)	0	11,650	△ 11,650
	経常経費寄附金収益	[666,265]	[614,000]	[52,265]
	サービス活動収益計(二)	308,953,295	324,133,193	△ 15,179,898
サ ー ビ ス 活 動	人件費	[173,227,145]	[182,539,404]	[△ 9,312,256]
	職員給料	(99,055,643)	(106,707,564)	(△ 7,651,915)
	職員給料(課税)	3,395,808	3,210,055	185,803
	職員給料(不課税)	95,659,841	103,497,552	△ 7,837,713
	職員賞与	16,813,011	17,832,530	△ 1,019,519
	賞与引当金繰入	3,380,000	7,950,000	△ 4,570,000
	非常勤職員給与	(24,765,968)	(23,638,421)	(1,127,547)
	非常勤職員給与(課税)	682,750	617,040	65,710
	非常勤職員給与(不課税)	23,083,218	23,071,381	11,837
	退職給付費用	3,554,440	3,731,806	△ 177,366
	法定福利費	21,658,080	22,629,033	△ 970,953
	事業費	[46,380,460]	[45,362,026]	[1,018,434]
	給食費	13,577,831	13,350,244	227,587
サ ー ビ ス 活 動	保健衛生費	1,424,916	1,448,223	△ 23,307
	教養娯楽費	189,215	179,809	9,406
	水道光熱費	(17,358,491)	(17,162,036)	(196,455)
サ ー ビ ス 活 動	電気料	6,647,222	6,274,659	372,563
	ガス料	5,835,764	5,986,360	△ 150,596

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
増 減 の 部	上下水道料	4,875,505	4,901,017	△	25,512
	燃料費	29,402	0		29,402
	消耗器具備品費	5,645,725	5,676,665	△	30,940
	保険料	643,200	532,240		110,960
	賃借料	1,684,600	1,109,643		574,957
	教育指導費	403,354	368,257		35,097
	車輻費	(367,391)	(321,883)	(	45,508)
	燃料油脂費	302,891	240,870		62,021
	その他の車両費	63,600	80,992	△	17,392
	雑費	(56,335)	(13,046)	(	43,289)
	雑費(課税)	4,951	13,046	△	8,095
	雑費(不課税)	51,384	0		51,384
	事務費	[34,440,127]	[35,362,884]		1,087,243]
	福利厚生費	(1,066,930)	(1,070,520)	(△	3,590)
	福利厚生費(課税)	887,668	757,611		130,057
	福利厚生費(不課税)	179,262	313,509	△	134,247
	旅費交通費	462,770	332,540		130,230
	研修研究費	300,164	11,130		289,034
	事業消耗品費	369,770	237,677	△	132,093
	印刷製本費	367,199	310,092		57,107
	修繕費	2,615,713	2,215,710		400,003
	通信運搬費	725,403	744,166	△	18,763
	会議費	3,820	3,715		105
	広報費	299,750	0		299,750
	業務委託費	22,719,125	22,382,976		336,149
	手数料	589,352	583,773		5,579
	土地・建物賃借料	(680,000)	(668,000)	(	12,000)
	土地・建物賃借料(課税)	660,000	668,000	△	8,000
	土地・建物賃借料(不課税)	20,000	0		20,000
	租税公課	347,100	121,430		225,670
	保守料	3,644,550	3,975,170	△	330,620
	諸会費	(123,850)	(140,850)	(△	17,000)
	諸会費(不課税)	12,000	24,000	△	12,000
	諸会費(不課税)	111,850	116,850		5,000
	雑費	(129,618)	(54,865)	(	74,753)
	雑費(課税)	123,618	54,865		68,753
	減価償却費	[5,515,268]	[5,123,178]	[	392,090]
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 297,459]	[△ 280,973]	[△	16,486]
	サービス活動費用計(2)	259,269,544	265,902,519	△	6,632,975
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	43,683,751	58,230,874	△	14,547,123
サ	その他のサービス活動外収益	[2,622,164]	[2,842,123]	△	219,959]
	受入研修費収益	53,000	40,000		13,000

京都市大原野の区分 事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
外部増減の部	受月者等外給食収益	2,149,080	2,211,020	△ 61,940
	雑収益	(420,084)	(591,103)	(△ 171,019)
	雑収益 (課税)	357,840	351,581	6,259
	雑収益 (非課税)	0	19,602	△ 19,602
	雑収益 (不課税)	62,144	219,920	△ 157,776
	サービス活動外収益計 (4)	2,622,134	2,842,122	△ 219,959
	支払利息	[25,994]	[31,790]	[△ 5,796]
	その他のサービス活動外費用	[1,435,340]	[1,535,950]	[△ 100,110]
	利用者等外給食費	1,535,840	1,535,950	△ 300,110
	雑損失	200,000	0	200,000
サービス活動外費用計 (5)		1,435,834	1,567,740	△ 105,906
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		1,186,300	1,274,382	△ 114,053
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		50,844,381	59,505,067	△ 8,660,686
特別増減の部	施設整備等補助金収益	[330,000]	[0]	[330,000]
	施設整備等補助金収益	330,000	0	330,000
	施設整備等寄附金収益	[396,000]	[0]	[396,000]
	施設整備等寄附金収益	396,000	0	396,000
	特別収益計 (8)	726,000	0	726,000
	固定資産売却損・処分損	[1,648,265]	[1]	[1,648,264]
	建物売却損・処分損	1,648,265	0	1,648,265
	器具及び備品売却損・処分損	0	1	△ 1
	国庫補助金等特別積立金積立額	[330,000]	[885,040]	[△ 555,040]
	拠点区分間繰入金費用	[42,275,000]	[48,692,000]	[△ 6,417,000]
特別費用計 (9)		44,253,265	49,457,041	△ 5,203,776
特別増減差額 (10)=(8)-(9)		△ 43,527,265	△ 45,457,041	△ 1,929,776
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		7,317,116	13,048,016	△ 2,731,203
前期繰越活動増減差額 (12)		176,359,597	173,781,381	2,578,216
当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		183,376,213	186,829,397	△ 2,453,184
活動増減の部	基本金取崩額 (14)	[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額 (15)	[5,850,000]	[1,250,000]	[4,600,000]
	修繕積立金取崩額	1,440,000	1,250,000	190,000
	備品等購入積立金取崩額	4,410,000	0	4,410,000
	その他の積立金積立額 (16)	[9,900,000]	[11,000,000]	[△ 1,100,000]
	人件費積立金積立額	3,000,000	3,000,000	0
	修繕積立金積立額	3,490,000	5,000,000	△ 4,510,000
	備品等購入積立金積立額	3,410,000	0	3,410,000
	次期繰越活動増減差額			
	(17)=(13)+(14)-(15)-(16)	179,326,213	175,953,397	3,372,816

京都市大原野の区分 貸借対照表

2022年 3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	133,400,271	181,658,670	△ 1,258,299	流動負債	27,517,398	23,454,601	△ 1,947,203
現金預金	12,986,643	73,174,103	△ 60,217,466	事業未払金	15,478,729	20,646,133	△ 2,163,406
収益未収金	46,005,148	47,884,749	△ 1,739,606	その他の未払金	243,622	369,463	△ 22,641
受取補助金	5,230,450	7,450,950	△ 2,229,500	1年以内返済予定リース債務	183,825	323,452	△ 154,327
立替金	502,286	750,838	△ 247,612	職員預り金	243,622	279,548	△ 30,526
前払金	55,000	56,000	△ 1,000	貸与引当金	8,340,000	7,950,000	△ 400,000
進点区分間貸付金	118,558,748	55,831,866	63,226,384				
固定資産	109,592,459	97,102,527	△ 12,489,932	固定負債	393,424	562,045	△ 168,621
その他の固定資産	109,592,459	97,102,527	△ 12,489,932	リース債務	36,916	203,539	△ 166,622
建物	5,037,853	6,747,678	△ 1,739,825	返還給付引当金	356,509	358,500	△ 1,991
構築物	1,474,830	571,752	903,078	負債の部合計	27,910,822	30,028,645	△ 2,115,824
機械及び装置	2	27,150	△ 27,138	純 資 産 の 部			
車輦運搬具	6	244,342	△ 244,247	国庫補助金等特別積立金	1,755,683	1,723,154	△ 32,541
器具及び備品	17,197,538	13,253,144	3,930,204	国庫補助金等特別積立金	1,755,683	1,723,154	△ 32,541
有形リース資産	20,962	52,433	△ 31,441	その他の積立金	78,000,000	73,990,000	4,000,000
権利	149,760	143,750	6,010	その他の積立金	78,000,000	73,990,000	4,000,000
ソフトウェア	140,462	208,294	△ 67,932	人件費	26,530,030	23,500,000	3,030,030
無形リース資産	104,573	476,585	△ 292,007	修繕	23,600,030	27,450,000	△ 3,850,000
繰上償却引当資産	353,509	356,509	△ 3,000	備品等購入	22,000,000	23,000,000	△ 1,000,000
積立金等	73,603,000	73,950,000	△ 347,000	次期繰越活動増減差額	179,326,413	176,069,387	3,255,815
人件費	26,630,030	23,500,000	3,030,030	(うち当期活動増減差額)	7,316,316	10,048,016	△ 2,731,200
修繕	23,600,030	27,450,000	△ 3,850,000				
備品等購入	22,000,000	23,000,000	△ 1,000,000				
繰上償却金	1,000,000	1,000,000	0				
長期貸付金	59,960	59,960	0	純資産の部合計	256,061,068	251,732,581	4,328,557
資産の部合計	280,992,730	281,769,197	△ 776,467	負債及び純資産の部合計	280,952,730	281,750,197	△ 797,467

計算書類に対する注記（京都市大原野の杜）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

◇満期保有目的の債券：積均原価法(定額法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

◇有形固定資産：定額法による減価償却を実施する。

・平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については残存価額を取得価額の10%として償却を行い、耐用年数到来後も使用する場合に備忘価額(円)まで償却する。

・平成19年4月1日以降に取得したものについては、減価償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額(1円)を控除した金額に達するまで償却する。

◇無形固定資産：定額法による減価償却を実施する。

・残存価額は0円とし、償却累計額が当該資産の取得価額に達するまで償却する。

◇リース資産

・ファイナンス・リース取引：所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産。リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。ただし、重要性が乏しいものについては貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

・京都社会福祉事業企業年金基金にかかる取扱い規定による

◇賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、当該支給予定額のうち当年度に帰属する期間に相当する金額を賞与引当金に計上している。

◇徴収不能引当金

・なし

(4) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

◇法人独自の退職給付制度

・社会福祉施設職員等退職手当共済法の適用を受けることが出来ない職員に対して支給される額で、年度末における同共済法の定める所により算出し、交付される額に準じて算出した額による

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

◇独立行政法人福祉医療機構の実施する退職給付制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 京都市大原野の杜 拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3㉔）

ア 生活介護事業

イ 施設入所支援事業

ウ 短期入所事業

エ 日中一時支援事業

オ 特定相談支援事業

(3) 拠点区分資金収支明細書（別紙8㉔）は省略している。

6. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	7,507,633	2,499,777	5,007,856
構築物	7,487,863	6,012,970	1,474,893
車両運搬具	11,852,327	11,852,332	5
機械及び装置	520,284	520,282	2
器具及び備品	37,799,157	23,601,619	14,197,538
有形リース資産	157,206	136,244	20,962
合計	66,332,414	41,531,224	24,801,190

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし